

インタビュー

西村陶業(株)
代表取締役

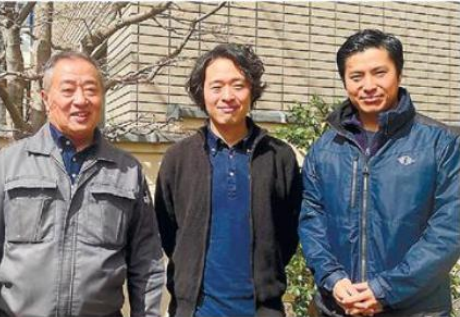
西村 嘉浩 氏

海外部 部長

西村 昂 氏

営業部開発技術課 課長

西村 佳 氏



「最後の頼みの綱」として重宝されている。代表

セラミックス業界で一
目置かれる企業が京都に
ある。西村陶業(株)(京都
市山科区)は、様々な用
途で使われる100種類
以上のセラミックス部材
を一貫生産しており、あ
らゆる部材をセラミック
スで製造する技術力で高
い評価を得ている。大手
が断念した案件を同社が
開発に成功したという事
例も多く、ユーザーから

左から西村嘉浩氏、
西村佳氏、西村昂氏

取締役の西村嘉浩氏、海
外部部長の西村昂氏、営
業部開発技術課課長の西
村佳氏に話を伺った。

「貴社の特徴は、
西村嘉浩 100種類
以上のセラミックス部材
を一貫生産している。少
量から中量の量産にも対
応しており、セラミック
スを使うお客様の様々な
お悩みに対応できる技術
を

分析機器や工作機械向け
など、様々な業種向けの
部品を手がけており、特
定の業界や企業に偏って
おらず、うまくリスタ分
散できている。

西村佳 A
NYCHUC
Kは、様々な
サイズかつ様
々な材質のワ
ークを吸着で
きる。従来の



薄物ワークも吸着固
定できる「ANYC
HUCK」
ズマに晒されるため耐久
性が求められる半導体製
造装置の部材にも使われ
ている。

西村嘉浩 お客様から
は「最後の頼みの綱」と
して重宝されている。今
後もそれを維持していき
たい。

西村昂 お客様から
は「最後の頼みの綱」と
して重宝されている。今
後もそれを維持していき
たい。

西村佳 そのとおり
で、微細な孔(穴)を無
数に形成したポーラス構
造のセラミックスが得
意とお聞きしています。

西村昂 ガスフィルタ
ーもポーラスセラミック
スの技術を活用したもの
あるのですね。

西村昂 海外市場での
売り上げ拡大を目指して
いる。現在の海外向け売
上高比率は全社の3割だ
が、もっと引き上げてい
きたい。おなみに当社は、
京都市および京都高度技
術研究所から

「令和6年度
京都市クロー
バル・ニッチ・トップ企
業創出プロジェクト」に
採択され、半導体製造装
置用セラミックス部材の
北米への販売強化に向け
た助成金の交付を受けて
いる。これをして「こし
て海外事業をさらに強化し
ていきたい。」
(聞き手・編集委員 齋
秀樹)

「最後の頼みの綱」として重宝

薄物を無傷で吸着する真空チャック

力があると思
負っている。
得意にして
るのが、大手
が量産しない
少量の製品、
あるいは技術
的難易度が高
い製品など
だ。他の大手
セラミックス
企業が断念し
た案件も当社
に持ち込まれ

西村昂 2025年に
新工場を京都市内に開設
した。これにより当社は
3工場体制となった。

西村昂 主に半導体製
造装置に使われており、
全体に占める半導体製造
装置向けの比率は30、40
%となっている。半導体
製造装置以外では、医療

西村昂 最小0.1mmの
気孔が作りこまれたポー
ラス構造を活かして、様
々なワークを吸着させる
ことができる。

西村昂 ガスフィルタ
ーもポーラスセラミック
スの技術を活用したもの
あるのですね。

西村昂 海外市場での
売り上げ拡大を目指して
いる。現在の海外向け売
上高比率は全社の3割だ
が、もっと引き上げてい
きたい。おなみに当社は、
京都市および京都高度技
術研究所から

「令和6年度
京都市クロー
バル・ニッチ・トップ企
業創出プロジェクト」に
採択され、半導体製造装
置用セラミックス部材の
北米への販売強化に向け
た助成金の交付を受けて
いる。これをして「こし
て海外事業をさらに強化し
ていきたい。」
(聞き手・編集委員 齋
秀樹)